

太陽光発電でロープトローを動かすチャレンジに蓄電池を導入

DRRREAM SESSION with FUTURE LAB.

3月29日～31日 湯殿山スキー場にて開催

Burtonは、DIGGIN' MAGAZINEが主催し、太陽光発電で稼働するロープトローを使ってスノーボード・スノースケート・スノートイを楽しむプロジェクト「Future Lab.」が、3月29日（土）～31日（月）に山形県・湯殿山スキー場にて開催されるイベント「DRRREAM SESSION」とのコラボレーションという形で開催されるにあたり、特別協賛としてイベントをサポートいたします。

DIGGIN' MAGAZINE主催の「FUTURE LAB.」と題された“太陽光発電でロープトローを動かすチャレンジ”は、2022年3月に初めて開催されました。ロープトローは、雪面上を滑走して移動する専用の搬器に、掴まる・跨がる・あるいは背中や腰にあてがうといった形で、利用者が雪面を滑りながら登る簡易リフトです。今年2月に開催された「Burton Mystery Series」スキージャム勝山でも、地球環境への負荷低減や雪のある豊かな自然を次世代に繋げていくための体験機会として展開され、普段中々見られないリフトに参加者も興味津々で、太陽光の力でゆっくりと動くロープトローを多くのスノーボーダーが体験していました。

日本各地の雪国では近年、降雪の減少や施設の老朽化といった様々な要因により、ローカルスキー場が閉鎖されるケースが増加しています。また、莫大なコストがかかるリフトの稼働も、スキー場の経営を圧迫する大きな要因の一つと言えます。一方で、そうしたコンパクトなスキー場が、太陽光発電と蓄電を併用したり、バイオディーゼルを利用することで、コストを抑えて簡易リフトを稼働させることができるようになれば、スキー場経営継続の活路を見出したり、閉鎖されたスキー場跡地を有効活用したりする可能性もあると考えられ、このような事実を知っていただくことも、「Future Lab.」開催の大きな意義となっています。

そして今年も、太陽光発電のシステムに蓄電池を導入することにより、曇りや雨など日射条件が良くない場合でも継続してロープトローの安定運転をすることが可能となります。そして、より多くの方が、太陽光のエネルギーをダイレクトに体で感じるロープトローを体験できるように、毎年盛り上がりを見せる湯殿山スキー場の営業最終タイミングに合わせてイベントが開催されます。

Burtonは「ピープル」「プラネット」「スポーツ」という3つのパーパスを掲げています。雪山を愛するコミュニティが力を結集し（ピープル）、自然エネルギーを活用し（プラネット）、ゲレンデの未来を切り拓くロープトローを稼働させる（スポーツ）...FUTURE LAB.の挑戦は、私たちのパーパスと深く共鳴しています。Burtonでは、この取り組みに参加した人、情報を知った人、共感した人が未来を考え、行動するきっかけとなることを望んでいます。そして、一人ひとりの意識と行動が、気候変動に影響を与える大きな力となり、エネルギー問題を変えて、持続可能な未来に繋がること、それが持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進し、自然と共生する未来になると信じています。



Burtonの活動の全ては、ブランドが掲げる「[パーパス](#)」に基づいています。山をフィールドとして楽しむスノーボードのブランドとして、「人」、「地球」、そして「スノーボード」のためにできることは何か？を常に追求し、行動に移しています。今シーズン展開されているプロダクトの一つ一つにも、それらの想いが込められています。

Burtonのパーパスについて

私たちが目指す未来は明確です。
関わる全ての人々にポジティブな影響を与えること。
環境への負荷を最小限に抑えること。
そして、思いっきりスノーボードを楽しむことです。

人々のために

人々を尊重するという事は、公正な賃金を支払い、責任ある調達を徹底し、誰もが歓迎されるコミュニティを築くことです。

地球のために

環境への負荷を最小限にする。そのために必要なことは、CO2の排出量を削減し、地球や人々にとって安全で、かつ長く使えるプロダクトを作ることです。

スノーボードのために

私たちの使命は、スノーボードの未来を守り、誰もがライディングを楽しめる世の中にあることです。

2025ゴール

クライメートポジティブに向かって

私たちは、2025年までのクライメートポジティブ達成を目指します。そのために、SBTi (Science Based Targets イニシアティブ) に沿ってカーボンフットプリントを削減し、その排出量を相殺するための投資を行い、そして気候変動を引き起こす構造レベルでの変革を提唱します。

Certified



BurtonはBコーポレーション認証企業

「B Corporation (Bコーポレーション)」=「B Corp (Bコープ)」とは、米国の非営利団体B Labがおこなっている、社会や環境に配慮した公益性の高い企業に対する国際的な認証制度。Burtonは、スノーボードカンパニーとして初めて2019年に認証を取得し、2024年には北米・ヨーロッパ・アジア太平洋エリアにおいて、Burton及びAnonブランドにて再認証されました。

Burtonについて

[ジェイク・バートン・カーペンター](#)は、1977年にアメリカ・バーモント州のガレージでスノーボード作りを始め、Burton Snowboardsを設立。以後、生涯をスノーボードに捧げました。Burtonは、創業時より画期的なプロダクトライン、リゾートに対する草の根的努力、そしてトップレベルのチームライダーにより、スノーボードを裏山での遊び道具から、ワールドクラスのスポーツへと成長させることにおいて、極めて重要な役割を果たしてきました。現在は、スノーボードギアとアウトドアに関連する業界トップのプロダクトをデザイン、製造しています。アウトドア/ウィンタースポーツ業界のサステナビリティ・リーダーとして、スノーボードの企業として世界で初めてB-Corp認証を取得しました。Burtonはドナ・カーペンターにより所有されているプライベートカンパニーで、アメリカ・バーモント州バーリントンに本社、オーストリア、日本、オーストラリア、カナダ、中国にオフィスを置いています。詳しくはwww.burton.comをご覧ください。